

この度はお買い上げいただきましてありがとうございます。安全上のために当説明書は必ず最後までお読みになり保管してください。

1. 定格

MULTIcont X-16	
使用可能 電池セル数	Ni-Cd/Ni-MH6 8cell Li-Poly 2 cells
最大電流	16 A
モーター駆動周波数	6 KHz
BEC 出力電圧	5 V
BEC 供給可能電流	max. 1 A
本体寸法	27 x 20 x 8 mm
本体重量	17 g

2. 安全の為の注意

- スピコンは常に風が流れる場所に設置してください。
- バッテリーの極性には注意してください！ 逆接続でスピコンは修理不能になります。赤いワイヤーはプラス(+)黒のワイヤーはマイナス(-)です。
- ワイヤーのはんだ付け作業中は必ずバッテリーを外して作業してください。
- モーターの動作検査の時はモーターを必ず機体に取り付けて、回転するプロペラの周囲には十分な空間を空けてください。
- 先に送信機のスイッチを入れてからバッテリーをスピコンに接続します。飛行後はバッテリーを外してから送信機を OFF にします。

3. 特徴

- **電圧オートカット OFF:** バッテリーの電圧からオートカット電圧値を自動設定します。
- **パワーONガードシステム:** バッテリーを接続した時に送信機のスロットルスティックがスロー側ないと安全上モーターは動作しません。(LED が点滅)
- **オーバーロード保護機能:** 過電流を検出するとモーターは停止します。バッテリーを再接続するまで解除しません。
- **過電圧保護機能:** 16V 以上の電池電圧を検出するとスピコンは動作しません。

4. スピコンとモーターの接続

注意: はんだ付けは適切に行わないとモーターやスピコンの部品を痛める原因になります。手早く確実に はんだ付けしてください。

1. ノイズキラーコンデンサー: 受信機の誤動作を防ぐために、ご使用のモーターには必ずコンデンサーを取り付けてください。
2. 黄色のワイヤーは通常モーターの + 端子、青のワイヤーは - 端子にはんだ付けします。
3. モーターの回転方向を確認します。もし回転方向が逆であればモーターの端子を逆にはんだ付けしてください。

5. 使用方法

1. コネクターを受信機のスロットル CH に接続します。
2. 送信機の ATV (舵角) は上下共に 100% に設定します。
3. スロットルスティックを一番下 (スロー) 側にします。
4. 送信機のスイッチを入れます。
5. バッテリーをスピコンに接続します。

注意: バッテリーの + - を逆に接続すると修理不能になります!

もし LED が点滅してモーターが動作しない時は送信機のスロットルのリバーシスイッチを逆にしてください。もしスピコンの LED が点滅した時は**パワーONガードシステム**が働いています。スロットルスティックを確実にスロー側に下げてください。

6. BEC 受信機サーボ用電源の容量について

受信機サーボ用の電源の容量は最大 1A です。サーボの消費電流はサーボの種類やリンケージの重さ、そして操作頻度によって大きく異なります。

また、動力用バッテリーの電圧から 5V に落とすので損失電力も考慮しないとけません。一般には 7 セルバッテリーでは 3 ~ 4 サーボまで、8 セルバッテリーでは 2 サーボまでが使用限度ですがサーボの操作頻度により異なります。

・電流値を測定できない場合は飛行前に一度、飛行を想定してサーボを操作しながら BEC 回路の保護機能が動作してサーボが停止するまでの時間の確認を行ってください。

8セル以上やりが電池の場合は受信機側に別電源を使用することを推奨します。この場合、スピコンから受信機にいく3本平行線の赤 (+) をカットしてください。

7. 低電圧検出 オートカット機能

動力用バッテリーの電圧が低下してくるとモーターがオートカットされます。この時はまだバッテリーに着陸に備える電力が残っていますので直ぐに着陸アプローチに入ってください。

その後スロットルを最スローに下げるとオートカットは一旦解除されてモーターは動作するようになります。

その後、バッテリーのアイドルング (無負荷) 電圧の約 65% で再びモーターはカットされます。

8. 修理について

・修理を依頼される時はお手数ですが必ず下記項目をメモにて同封下さい。よりの確な修理が行なえます。

- 1) 使用模型、2) 故障状況または依頼内容、3) 使用期間、4) 修理上限希望金額

・ご連絡がない場合、修理の上限金額は単品定価の 50% 以内で行ないます。(送料別) それ以下での金額をご希望する場合は必ず事前に連絡をお願い致します。

・特にお客様の指示が無い場合、各部品は販売時の状態に戻します。

・点検の結果、異常が発見されない場合でも作動点検料金は発生いたします。

・当製品は修理にお時間がかかる場合があります。

お問い合わせ、修理品送付先

〒140-0012 東京都品川区勝島1-4-19-507

株式会社 ハイテック マルチプレックス ジャパン

電話: 03-5767-6300、IP電話: 050-5519-4989

FAX: 03-5767-6301

受付時間: 月曜日 ~ 金曜日

(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

10:00 ~ 12:30、13:30 ~ 17:00

サポートメールアドレス: support@hitecrd.co.jp

 www.hitecrd.co.jp

製品の仕様は予告無く変更することがあります